

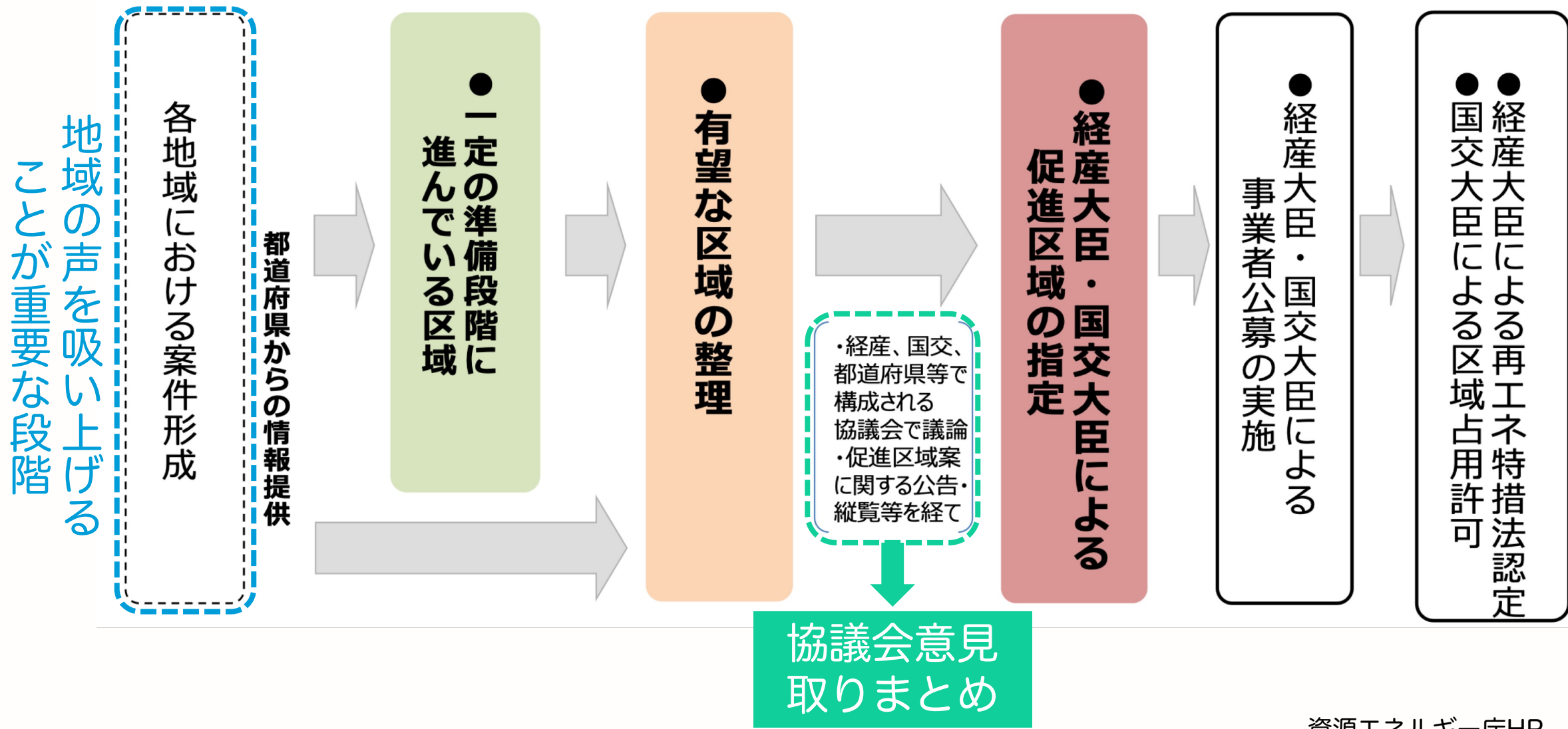


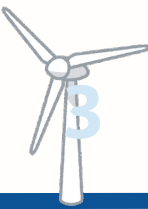
# 洋上風力発電の今とこれから

2024年1月25日（木）  
洋上風力オンラインセミナー  
ディスカッション  
東邦大学理学部・竹内彩乃



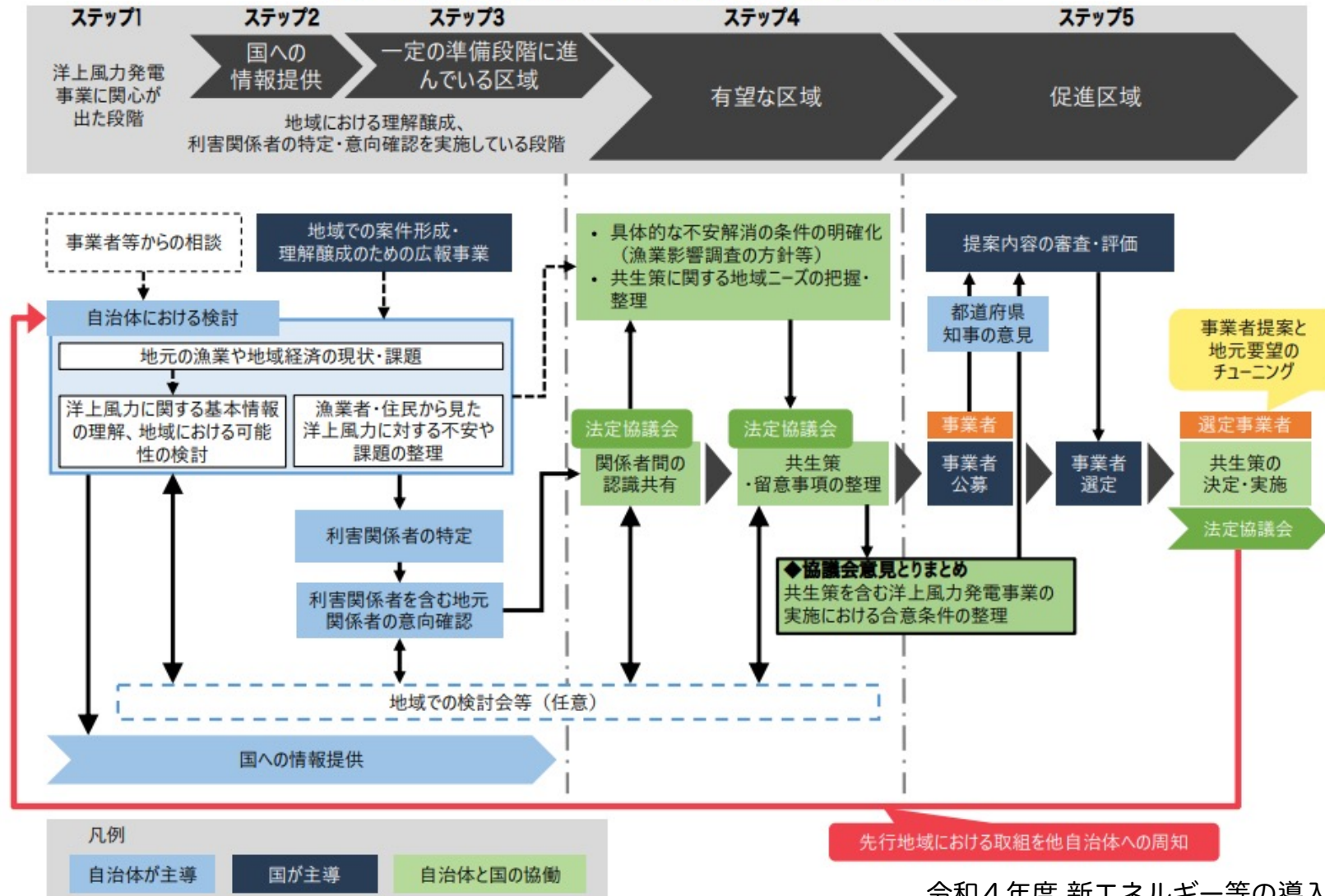
# 再エネ海域利用法の流れ





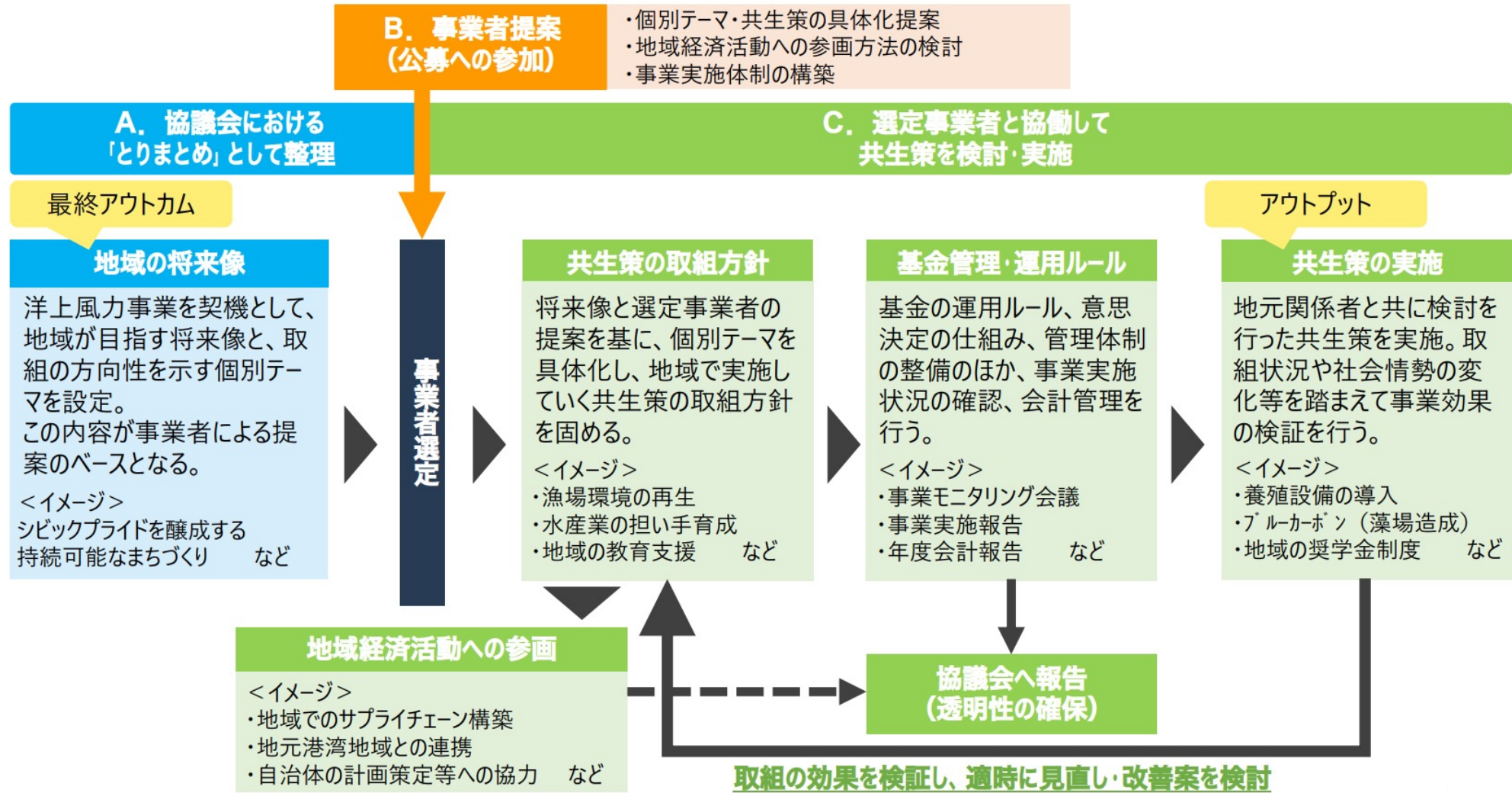
# 洋上風力発電の案件形成におけるステップと行政の役割

洋上風力発電の案件形成におけるステップと行政の役割





# 将来像、事業者提案、共生策の実施・基金管理に関するフロー





# 洋上風力発電 期待と不安

## 期待

- 漁礁効果
  - 既存の洋上風力発電所で確認済み
  - 岩礁域に生息する魚介類が多い
- 騒音や景観の問題が発生しづらい
- 風車の大型化が可能
- 風況が安定している
- 地域貢献策

## 不安

- 漁業の操業影響
- (沿岸の場合)景観への影響
- コストがかかる(陸上の約2倍)
  - メンテナンス
  - 海底ケーブル
  - 建設費用など
- 環境への影響
  - 鳥類
  - 魚類など



# ご講演やご質問からの気づき

## 斉藤様

- 世界の洋上風力発電の中で日本の存在感がない
- 事業採算性の重要性、事業スピード↔社会的受容

## 橋本様

- 地元の経済循環が生まれ始められている←地域の企業が中心になっていることに感動

## 鈴木様

- 市民風車→みんなで使う基金に（市民風車がある地域の方の風車に対する意識変化はあったのか？）



# ディスカッションのテーマ

## 1. 環境への負担

- 皆様：景観や騒音の問題について、適切な検討プロセス（タイミングや方法）が適切だとお考えですか？

## 2. 漁業への好循環

- 橋本様：地元産業の活性化における漁業関係者の関わりについて教えてください。

## 3. 地域への便益

- 橋本様・鈴木様：地域ビジネスモデルが実現する上での成功要因について教えてください。
- 鈴木様：市民風車の設置地域の意識変化などあれば教えてください。
- 皆様：洋上風力発電事業に対して市民はどのように関わることができるのでしょうか？

# 質疑応答へ

---

